市價
元寶 六吊百…
紅糧價錢五吊四百文至五吊…
市共上車三千餘輛
邊東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙 一…
一フールスカツプ全 一四圓…
一中判洋紙全 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一…
一簞笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十一圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

滿洲日報

○報價目
每月收取入角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價從減 每張四百文

特別廣告

◢資本金貳千四百萬圓
◢積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫勤 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話百十八番 支配人室 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
立神丸 六月八日長崎行
相模丸 六月五日 太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 末明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口 代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

瀛船出帆廣告
秀吉丸 六月五日門司行
高取丸 六月六日門司行
萬成源丸 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部 (電話五二番)

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 (電話五二番)

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
千珠丸 六月三日 四日市直行
代理店 東營口公園拋横 ブツシユ兄弟商會 遠來洋行 (電話二十三番)

○宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞布手巾花巾洋燭火柴鋼表等類價値格外克己如蒙賜價以敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商審其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院内 電話(店一八三番 住所五五番)

○東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口東西兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡有輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜並設有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是幸 總司理人 葉亮卿謹白

○東永茂
機器油房在營口創辦油捧生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週知之 正理事 潘玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

○西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料棧堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

○仁裕號
保險運各帶火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北警乙第十三號

○丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸 九三洋行分莊謹啓

○永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許設運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃(電話九十五番) 西義順棧内 西櫃(電話九十八番)

○代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達) 櫻花牌(撒欵) 百合花牌(利利)均已馳名内外兹特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

○矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨歸女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也 營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

志岐組木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光而議顧請到本棧

三井
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地(靑堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八号)

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

周
鐵道遼河裕和盛運輸局 (電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟煙代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧 總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨皆交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同内
樞開設

○繩叺莚販賣廣告
精々强勉仕候間不拘多少御注文奉願候尚は當地にて御入用之御方は南永世街三十七番地岩本眞鍋方へ御申越被下度候
大連市西通り二丁目四十三號地
東京 門倉出張所

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號 門牌便是

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部 (電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許 丸重洋行
營口西北街 (電話一八番)
牛家屯停車場構内 (電話四六番)

廣告
今般元神廟街憲甲第二百三十號舊宅合名會社營口支店(澤龜)跡へ移轉仕り外來及入院患者の治療に從事致候此段謹告仕り候也
明治三十九年五月二十四日
酒井醫院 酒井榮次 (電話第一一九番)

靑堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉玆本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口
華盛通轉運行
專以代客運送各城貨物包裝火車格外價廉極其方便倘蒙諸君賜顧者請至本賬房面議可也
本行 主人 李子鳴 蘇子方 執事人 楊兆豐 謹啓

Payable in Advance, Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Telephone No. 29. *Newchwang.*
料金 一長期連載減價面議
發行所 淸國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

倫敦電報

●阿片に關する決議　（五月三十一日發電）　英國下院は阿片貿易に關するセオドール、テーラ氏の動議を採用せり印度大臣ジヨン、モーレー氏は由く若し支那にして阿片吸飲嚴禁を切望すとせば英國並に印度政府は假令へ自巳の利益を犧牲となすとも如何なる計畫にも同意すへきなりと

●西班牙王の御結婚　（六月一日發電）　西班牙國王アルフォンゾ十三世陛下とバッテンベルグのエナ内親王との御結婚の大典は昨日サン、ゼロニモに於て擧行せられ儀容頗る盛大を極めたるが式場より御還幸の途中爆烈彈を投じたるものありしも兩陛下は共に御無事なりし

右の爆烈彈は宮廷より四分一哩を距りたる街側の一家屋の二階より懸れる花飾りの中に隱匿されたるものにして車駕と最も車駕に近き輓馬との間に落下し車爲は破碎し輓馬は斃れたり御者は直ちに車中より兩陛下を援け出し奉れり

右の騷擾によつて警衛の中尉一名兵九十四名婦人二名と及び他三名の死者を出しラトー伯は負傷せり

兩陛下は御還幸後多數の貴廣に取圍まれ涕泣しつゝ宮廷の階段を登らせ給へり犯罪嫌疑者は多數捕縛されたり

雜報

●日英同盟と兵力　日英攻守同盟條約に基つき東洋に事ある場合に於て兩國か動かすべき陸海軍の兵力如何に就ては當事者間に於て交渉を重ねつゝありたるか此重要事項は全く協定を了りたりと云ふ

●沿海州の領事館　露國は從來東洋に於ける領土内に外國領事館の設置を否認し來り我か國のみ樺太千島交換條約の明文に依りて戰役前まて樺太島南部に領事を置きつゝありしか對岸なる沿海州に對する我か國の關係は現在に於ても亦將來に於ても其の密接なるへきは他列國と其事情を異にするものあり旁沿海州に對して更に一個の邦人保護の完全なる機關を要するを以て適當の法を選び樺太島に於ける先例に依り領事館を新設せんとの議あり

●安奉輕便鐵道　奉天、安東縣間に於ける輕便鐵道は滿州經營の第一着として滿韓を縱貫すへき本鐵道の敷設變更を爲すへき筈にて昨年來夫々軍事當局者に於て調査中なりしか其敷設費は約三千萬圓を要するも之か貫通は撫順炭礦の經營とも關聯し急速を要すへしとの事にて來年度より繼續事業として工事に着手する豫定なりと

●關東總督府官制　關東總督府は戰時狀態中に組織されたるものなれは平和克復の今日に於て其官制を成定するの必要あるを以て目下詮議中に屬す何れ遠からす發表を見ることゝなるへしといふ

●三殿下の御入隊　朝香宮鳩彥王、久邇宮稔彥王、北白川宮成久王各殿下は來三十日陸軍中央幼年學校御卒業に付き六月より左の部隊に入り士官候補生の勤務に就かせらるゝ由

朝香宮鳩彥王殿下　近衛步兵第二聯隊へ
久邇宮稔彥王殿下　近衛步兵第三聯隊へ
北白川宮成久王殿下　近衛砲兵聯隊へ

●バルラダの廻航　我が海軍砲隊の爲めに旅順港内にて擊沈されたる巡洋艦バルラダは曩きに其浮揚工事を完了し廻航準備工事中なりし所今回其の工事を終はりしを以て愈一周間以内に鎮遠に曳かれ廻航さるへしと云ふ

●石炭二千噸　戰役中我か攻城砲の爲めに旅順港内に擊沈されたる運送船（船名を逸す）の搭載せし石炭三千噸の中二千噸は本船の浮揚後去る五月二十八日首尾克く拾ひ上くることを得たりと云ふ

●税所司令官の着任　曩きに伊知地少將の後を受けて旅順要塞司令官に任せられたる税所少將は兩三日中に着任すへしと云ふ

●從軍記章の製造　三十七八年戰役從軍記章の製造に就き過日上京の長谷川造幣局長賞勳局と打合せ愈〻二十四日其の筋より調製の命令に接したり、地金は黃銅を用ひ個數は約二百萬、全部竣工は約一個年とし職工幷に臨時雇若干名を別に採用し工場機械等夥頓次第取急き着手するよし

●清國の我か教育品　清國に於ては我か國に數多の留學生を派遣すると同時に內地に於ては專ら教育制度の改良發達に力め教育用品の大部分も殆と我か國より供給し其の需用頗貴に五十餘萬圓に達し尚本年度に於て清國政府は湖南湖北に多くの小學校を增設し奉天には又師範學堂を開設する計畫なりと言へは本年度に於ける教育品の需用は一層增大するに至るへしと

●清國輸入貿易の不振　明治三十八年に於ける清國外國貿易は日露戰爭の餘波、米國人排斥運動、洪水其他の障害等の爲め概して不振の狀況にあり輸入貨物の如き三十七年末に於て戰爭終結に伴ふ商業の繁昌を豫期し上海牛莊等に於ては前五個年平均の二倍以上を輸入したるも實行甚た面白からす商品滯積

●ロ提督敗戰談　左の一篇は昨年五月廿八日鬱陵島附近に於て我驅逐艦漣の爲めに捕獲せられたる露提督ロヂエストウエンスキー中將が俘虜の身として久しく其創痍を海軍院に養ひつゝ何人にも面會することを拒絕し居たるが歸國に際し運送船ウヲニーに在て偶々訪問の外客に對し始めて語りたる處なりとて大阪每日新聞に掲載されたり趣味深かければ此に轉載することゝなせり

問「若しバルチツク艦隊にしてマダカスカルに停止することゝなく日本艦隊の大部分が修理未だ成らさるに乘じ急行極東に到着したらんには日本は重大なる損害を蒙りたるべきにあらすや

提督は暫時默考の後徐に口を開きて左の如く答へたり

余の計畫は停止することなく進航を續けんと欲せしも種々の事情の爲めに妨げられ屢々中絕するの止むを得ざるに至れり其中最も困難を感じたるは獨逸石炭船にして其他排除すべき有形上の障害は實に數ふるに遑あらず吾輩が對島海峽に到着したる時余は必ず日本全艦隊に邂逅すべきことを知れり余は決して戰鬪を避けんと欲するの意思を有せず如何となれば吾輩は戰はんが爲めに來ればなり然れども余は君に自白すべし余は彼程に敗滅を受くべしとは豫想せざりき余は對戰半ばにして勝敗決せず互に損害を受けし後吾艦隊は浦鹽斯德に到達し得るに至らんとを望めり

各四隻の裝甲艦より成る三分隊は單線にて進航せり第一分隊はスワロフ、アレキサンドル三世、ボロヂノ、アリヨール、第二分隊はヲスラビヤ、シソアベルキー、ナヒモフ、ナバリン、第三分隊はニコライ一世、セニヤビン、アプラキシン、ウーシヤコフより成る而して四隻の巡洋艦オレーグ、ヲーロラー、ドミトリドンスコイ、ヴラジミルモノマツク之に次ぐ其後尾には五隻の小巡洋艦九隻の水雷艇および六隻の運送船附隨す

吾戰鬪艦十二隻は敵の甲裝艦十二隻より攻擊されたり最初三十分間は吾兵員充分に戰へり彼等は經驗と訓練を缺けるを以て戰鬪の初期においてこそ敵に多少の損害を與へたれ日本軍より猛烈なる砲擊を受くるや忽ちにして志氣沮喪し復如何ともする能はざるに至れり若し戰鬪の開始に於て吾軍の勇氣が日本軍と伯仲の間にあらんには其結果は疑ひもなく彼の如き敗滅を取らざりしならん余は日本の砲兵が世人の言ふ程に秀拔の域に達せしやは確信する能はず然れども十六ケ月間の戰爭中間斷なき實地の訓練は彼等をして遺憾なきに至らしめたるべし東鄉の兵員は凡て老練にして幾多の戰場に馴れ先に說明せる陣形即ち四ケ縱隊の各先頭艦に對し數理的明確を以て擊破しつゝ泰然として動かず冷靜にして能く其砲火を續行したり戰鬪二時間にして日本の勝利は既成の事實となれり吾艦船は隻一隻每に敗退して戰鬪力を失ひ或は沈沒或は全砲臺の破壞無勢力、或は死屍積んで山をなし五月廿七日午後三時には吾艦隊は最早生存せざりしなり

殘る處はアリヨールを見たる足下の能く知る所なり足下は彼が捕獲されたる當時如何に慘憺たる有樣にありしかを目擊したるべしされども彼のアリヨールは縱隊中の殿艦たりしことを回想せよ彼は比較的被害少なかりし者なり是に因て結論せられよ思ひ半に過ぐるものあらん日本の勝利は全く大砲の力に依れり然れども煩砲の効果は吾人が豫想せる所と大に其趣を異にし吾が甲鐵帶の何れも榴彈の爲めに破損されたることなし唯だ連續せる砲彈の撞擊の爲め鋼板をして支離分別せしめたるに過ぎず鋲釘跳出して是より海水浸入し船は爲に重心點を失して轉覆沈沒するに至れり我艦船の構造拙劣にして其計畫に缺點ありし如く云ふ者あれども是れ誤謬なり如何なる船舶も斯の如き事情に遭遇せば同一なる運命に陷るべきや必せり吾が戰艦に於て唯缺點なりとする處は七十五密砲を水準線近く据付たることにして天候惡き時波浪の爲に惱まさるゝと是なり

尙足下に一言せざるべからざる者ありソハ他に非ず甲鐵艦の最も大敵とする處は間斷なき敵榴彈の爆發に依て生する火災是なり艦內凡て全燒となりたり然し吾が戰艦に於ては木部甚だ僅少し余は司令塔內に在りたるも火焰の包圍する處なるも艦內の塗物に點火し全艦怖るべき火災を以て蔽はれたり從て艦内到る處殊に砲塔内に於ては窒息せしめんとするの熱度に達したり艦內には多くの喞筒を有せざるに非らざるも戰鬪の始に於て破碎されたり嗚呼殆ど軍艦の全部を塗抹せる塗具の危險なること斯の如し豈悚然として恐れざるべけんや吾々は日本軍艦に於ても同樣火災を見たり然れども彼等は其附近に造船工廠の便を有するを以て被害艦船は直に戰場を避け火災を鎮滅することを得たり

●乃木大將の義俠　乃木大將はステッセル將軍の死刑宣告說に關し露國當局者に向け其實否問合せを兼ね旅順開城の已むを得ざりし事情の大要を電報したりと

●遼陽基督青年會の美擧　米國震災救濟義捐金募集の爲め五月二十九日遼陽基督青年會は同地の軍隊慰問部に於て幻燈會を開催したるが其の收入義捐金十三圓八十八錢に達したりと云ふ

●論功行賞の不權衡　近日行はるへき論功行賞は其全體の賞金額を一億五千萬圓と定め之を三分して陸軍々人九千萬圓、海軍々人三千萬圓、文官其他三千萬圓となせり其結果として陸軍々人の受くる所は一人平均六十圓なるに海軍々人の受くる所は一人平均六百圓にして海軍々人は陸軍々人に比して正しく十倍の賞金を受くへき割合なり是れ畢竟海軍は金額の多き割合に人員の少なき結果なるへく陸海軍の不權衡亦た甚しと謂ふへく且つ陸軍の行賞は比較的に生者よりも死者に厚くせん爲め「殊勳の甲」を少なくして「殊勳の乙」以下を多くせるに海軍は日本海々戰に參與せしものは悉く「殊勳の甲」となしたれは其人員非常に多く陸軍の如きは到底權衡の取れさる始末となりたれは陸軍も亦た「殊勳の甲」を多く作らんとするに至れり然るに陸軍將校中死者の殊勳の甲となれるものは僅かに吉岡中佐の功三級、市川中尉（工學士）の功四級の二人ありしのみにて其餘は皆「殊勳の乙」以下となせり故に生者を多く「殊勳の甲」となさんか其結果として死者に對して均衡を失ふに至るべしと云へり

●本願寺の日曜說教　當地本願寺出張所に於ては本日午後一時より營口佛教婦人會を開會するを以て午後一時の說教は之を見合はし午後八時より慧燈大師著作の領解文に就て寺本布教師より說教ある筈なりといふ

●佛教法話會　三日午后二時より西營口老爺廟內妙心寺派布教場に於て佛遺教經の續講及び慚愧の服は諸の莊嚴に於て最も第一なりと題する法話ある筈なり

●日本人會例會　兎角無能の聞えある日本人會は先きに補欠選擧によつて十一人の名士を得愈〻六日午後六時より同會內會議場に於いて例會を開く由なり軍政の前途も甚た長からさるとなれは在留日本人の手に遺さるへき事業について是れは今より研究立案するを要す折角眞面目の結果を見んことを希望す

●火星との通信　（マルコニー氏の豫言）

無線電信の發明者として有名なるマルコニー氏は近頃ニューヨーク、アメリカン紙上に左の意見を掲載せり

▲地球より火星へ直接に迅速に音信を通ずるを得て而も空間にて妨害遮斷若しくは言語の紛失などの如き困難を生ずるなきに至るは今後十年を出でずして成功するならん若し又火星に棲息する人間の卓抜なる智識を有することと疑ひなく且つ之との交通は商業上極めて必要にして之によつて諸般の利益を得ると確實ならば尙一層短日月にして交通するに至らん試みに十分火星に達し得べき大砲と強き火藥とを用ひて發射せんか之によつて合圖を送るを得るならんも能く命中せしむるは極めて不可能の事に屬す夫れよりも寧ろ無線電信の方法を用ふれば敢て狙ふの必要なくして太陽系統中の何れへなりとも確實に通信するを得べし

▲地球と火星とはエーテルの同一層中に存在するものなることは望遠鏡を以て觀察すれば赤色なる火星の表面より太陽の光線の反射するを始終望見し得るを以て了解するを得るなり何となれば元來光線なるものはエーテルの振動即ち波動に他ならざるを以て其の存在する所にては時處を選ばず光線は能く傳達するなり無線電信に起る電氣の波動の傳達も之と同一方法なり故に若しエーテル中に微少の空隙あらんか恰も氷塊中の罅割の如く見え火星と其の罅割の彼方に在る諸物は一として見得べからざるなり

▲地球と火星とは其の距離四千四百四十萬哩なるが此の兩者間には予が輓近コーンウオール州ボルヅーに於ける無線電信會社より英國皇太子及び同妃を乘せ印度に向つて航行中の軍艦リナウン號に對しなせる如く確實に且つ詳細に音信を通ずるを得べし當時リナウン號はスエス運河の河口ポートサイドより百哩以內の處にありたるが容易に予の通信を受領し得たり

▲世人或は言はん此の如くにして初て地球と火星との通信開始し火星より吾人に其の歷史を通知するとも吾人の智識にては其の意味を理解することは恐らくは不可能にして畢竟何の用をもなさゞるならん又一方より言へば火星には吾人の通信を理會し之に答ふる如き智識を有する人間の果して住し居るか疑はしきことなりと

▲此の疑問に對して予は有名なる天文學者ローエル教授か輓近火星中の所謂マーシアン運河を撮影して夫れによりて益〻確實に世に所論を以て答へんとす

▲此の運河の一直線なることは吾人に其の自然的ならずして智識の進步せる人間の作爲せるものなるを證するものなり且つ其の愕くべき大きさによつて此等を穿ちたる人間の吾人よりも其の體大きく且つ其の體力卓越し居るのみならず機械の案出に對しても絕大なる進步を有するを知る此の如き人間の地球に通信するは極めて易々たる事なるのみ要するに火星は吾人の着目決して怠るべからざるものなりとす

卯の花　黄雨
香もせて寄せくる浪と見ゆる哉　かはそひ垣に咲ける卯の花

仝　耕南
卯の花の垣根つゝきにさきしより　夕暮知らぬ里の中みち

新樹　露月
若楓青葉しけりておく露の　綠色ます庭の面かな

仝　黄雨
たまかしは若葉しけりて山もとの　家居もわかすなりにけるかな

仝　耕南
梢まで茂りにけりや深みとり　青葉若葉の色まさりつゝ

・春八題　春風
春風の吹けば漸く逸馬かな
春風や洗ひあげたる髮を吹く
春風に楠芳し御普請
春風に吹れて行くや風車賣
春風や鯉の餌を吹く神の池
春風や京に出たる梯子賣
蔦きかゆる芽の家根や春の風
紀念碑の碑石を引くや春の風
鉄を販く大けな番や春の風

汽車時刻

關內外鐵道

上り　營口發前八、三〇　七、〇〇　溝幇子同九、四五　九、〇〇　錦州同后三、四五　二、〇〇　山海關着六、〇〇　八、一〇
下り　山海關發前七、〇五　四、四五　錦州同后三、三五　二、〇五　溝幇子同二、四五　四、四〇　營口着四、五五　七、三一
山海關發前八、一五　五、〇〇　北京發前八、〇〇

東清鐵道

新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、五〇　溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、五〇
上り　營口發前六、三五　后九、五五　大石橋着同七、三〇　一〇、三〇
下り　大石橋發前八、一五　后一一、一五　營口着同九、一〇　一二、一〇
大石橋發前八、〇五　后一一、〇五　大石橋着前七、五五　后一〇、五五

轉居
營口豊濟門街アツセンブリホールの東向ひ
遼河氷先人
齊藤諭吉

西海洋服店
歐米各國最新流行形
（電話百二十）

諸鐵工製作
鐵山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
營口ブリツヂ　定約商
吉川鐵工

天氣豫報
營口地方天氣豫報
自三十日午後六時至三十一日午後六時
南の風晴れ

雜報

大連通信（刀水）

▲我が內地で蟹八風の吹き荒ぶとき料理屋待合は暴風雨をくらつた漁場のよう其の淋びしさは興安上下風に村の楊のやせ枯れたる滿洲の冬景色よりも更らに甚だし此處大連は名に負ふ新租借地の第一關不景氣〳〵を口にしながらも料理屋の繁昌は迚ても內地で見られぬ大景氣そこを狙ふ水稼業のどちら向いてもドンチン〳〵耳の鼓膜を正面に打たぬと云ふはなきに近來二四風強く吹き荒れて市の景氣は俄かにばつたり火の消えた樣な有樣となり、一時旭日昇天の勢を以て大連に覇をとなへし扇芳亭さへも疾くに衰へて更らに評判高かりし梅花の如きも今や藝妓にキチン〳〵と勘定を爲す能はさるにいたれりとか大連の料理屋は概して此んな景氣となれり而も其の寂寞の內に稍流行見世として屈指さるゝを湖月、千勝館、及び此頃新たに出來た待合的の當花亭位のものなるへしとの事なり。兎に角く二百一軒の料理屋の其三分の二迄は半死半生療養トテモ叶ひ難しといふ次第とはお氣の毒なる事ども也

▲三十日より引續き今興業中の東京座の滿洲座實は駐屯軍隊中に組織されたる最も興味ある一座の連中は初め三日間を軍隊觀覽の日とし後ち二日間を一般觀覽に公開して相當觀覽料を徴集し其利益を婦人救濟會に寄附する由なるが滿州の戰塲に鐵砲もつて强敵を打ち悩ましたる兵隊さんの芝居なれば一般人氣はいやが上にも引立ちテグスネ引いて公開の日を待ちつゝ在り

●遼陽花柳しらべ　南和館の婆々藝妓、駒吉と云ふのはお前のことか、なんだ婆々とは可愛相だ、何が可愛相お前は、酉の年で今年三十と四、どおじや一言あるまい、お前も矢張古狸の株に洩れない、と云ふのは三十三年頃、臺北の松竹樓で、藝妓とは名計りの、娼賣をしておつたらう、オイ駒吉恐れ入つたらう、臺北から安平あたりで、お前の毒手に、かゝつたものは、數しれまいが、遼陽に來てまで、江川と云ふ男を、それ玉吉と引張り合い、玉吉はそれが爲めに、首の廻らぬ程借金ができたぞ、お負けに其の色男を、吾がもの顔に兩人で、寫眞をとり仰山そうに、誰かれの差別なく、誤披露するとは何のことだ、同娼賣でおりながら、年のとり甲斐もなく、玉吉がいれてんだ色男を、横どりするとは以ての外じや、それはそれとして、お前は怪しからぬ、南和館で古猫顔を、ふり廻し仲居や酌婦共を、いじめて仕方がない噂じやか、なんだそんな事は決して覺へがない、ないとは言はさぬ、チャント俺の耳におさめてある、お前のために兎角、うちわもめが絶へんといつて、主人も私かに氣を揉んでおるぞ、お前は知るまい、オイ駒吉長崎や島原のペッテン種で、エヘン藝妓でござい、と大きな顔しても、そりやメだぞ、イタチ短い鼻を、それあの喇嘛塔程高くしても、お里が知れておるから、此の天眼通の俺れにや、降參するじやらうアヽヽ（遼陽厄介坊）

●輭助のお芽出度　魔窟と稱へられた平野町其出沒の自在なると右より這入つて左に拔け左より來て右に影を隱す怪猫の窟として至極重寶なる所なり其住居家は聞み夜知らずとは看板に僞りのない滿月樓此家に先頃迄左り褄を取つて時ならぬ花を咲せた輭助の裾わり敢て容貌の美なるにあらず又藝妓として三筋の糸で斯界を切り廻す程の腕もなし、それなれば座持ち上手と言ひたいが悲しや之もゼロ、譽めんとすれば益々缺點のみ現はれてこれぞと云ふ長所のないのが此妓の持ち前なるに縁は異なもの味なものとやら近頃乙な噂を耳にするはこれぞ盗む猫の手練手管とてそしらるタイ五六日前何處をどう操つたものか垂涎三千丈の殿に大枚五十幾兩を出させて蒸籠の恩命に接し魔窟の片隅に一ヶ月三圓八十五錢の家を借入れて不景氣知らずの新世帶面白笑可敷巫山戯暮して居る由なるが如何に思ひ思はれたる中なればとて鮮福其度を減して公樂園の二の舞を演らぬよう誤注意こそ韓ぬ先きの杖（物知牛投）

●喜多八の肱鐵砲　大金持ちの親方に勤めなす命緣眼鏡の蒲鬚殿一名伯耆の守助平と云ふ男わり是迄命城、日本、第三樺が藝者仲居の誰彼の容捨なく片つ端より機械水雷にかけて美事沈沒させたる豪のものなるが去ぬる夜明治十七年進水式を舉行た中古怪艦第三號の喜多八號に碇舶所に夜襲を試みたるに惜しや助平殿は敵のサーチライトに照らされて獸慾の目的水泡に歸せしのみか撒彈であらぬ喜多八號の肱鐵砲に辟易してホウ〳〵の体にて引揚げたりとは近頃一寸目先の變つた話なり

●〆八の全盛　一度は三面子の鎗槍に痛く急所を突かれたる遼陽は遊東館の義眼藝妓廣島生れの牛尾はな事源氏名〆八と呼へるは鳥なき里の蝙蝠の譬へに洩れず勸進帳の片端位囓りおるものからエヘン此の田舍の遼陽で妻にならぶ藝妓は一人もあらぬと口には言はねど心では思ふにや高からぬ鼻を同地喇嘛塔のそれよりも一層高くし兎角朋輩衆に能く思はれず〆八の藝自慢より物議を惹起すこと珍らしからず誤面相も左り上り義眼なれど澁皮剝け垢拔けのした遠目美人なる故同地の鼻下長に持囃されるのみかチャンコロ連にまで私〆八さん大變すきあります、顔ホヽあります、喃漢と囃されチャンの全盛を極めおれは其の賣上高も毎月同地の一位に居り遊東館大事の米櫃なるか爰に〆八に丈け惚れ込み前後も辨へさる戀の狂熾殿あり人に敵ふる事はあるまじけれど昨今は無我夢中と思召せ登敗色は職務の外の憂氣はらしなど〳〵肝緊の御本職はうわの空鳥羽玉の闇と〆八に登りつめセッセと誤精勤なるとかやそこで〆八得

投書かご

たりかしてし笑貌をつくり藝者の性なら搖もつていお客の性なら金もつていせ鼻唄でおるとはよもや御ぞんじあるまいせ餘計の心配を書くなん申す

今度出來た西洋人の遊技場は實に甚しアレは公然の許可なるや否や現金を掛けて賭博をして居るは差支のないのですか（風紀生）▲貴紙の記事中で一番面白いのは頭陀袋が趣味も深ければ筆廻しも氣に入つた以後毎日掲載して貰ひたい（ヌカ袋）▲日報の体裁日増に整うて何となく花が咲いて來た惜し事には文學趣味の少ないのが疵だ、昨日の一闋和尚とやらの過ぎにし日の一夕なんぞは文も意味もなさない紙面を傷けるからコンナものは以後止して下サイ（大和尚）▲警務課附近の料理店の裏手の裏屋には立派な青年が三四名御同居して居らつしやるが此青年先生等の職業が何だか明ら無いが人の噂は種々雜多ですが或人の噺には其筋の許可を得なくして藥の密賣をやつてる樣子昨日同類者らしきチャンコロ來て居るのを目受ました（密賣藥筆誅生）▲公園は名の如く公衆の誤樂園なれば人も遊ぶ可く馬も入るべく車も飛すへくなれども近來自轉車乘りの人が夥しくして往々婦女子供の散歩を驚かす弊あり可成自轉車遊ひは禁じて貰いたい（子供持生）▲各位の御ひいきに預り候條小庵兀下婢さかを事今般小生の嗚に致し候誤關係の御花客樣に一言御斷り致置候也（新二葉のチャンクイ）

營口料理屋讀込サノサ節

「高砂や、アノ霧河に春帆上げて、隣金城に眠乞ひ、春の彌生のネ初コーカイに、早く着きたい沖の島」

「醉花園、庭に綻ぶ萬梅に、客の鶯來てとまる、末に別るゝネ身を知らて、明ぼの頃からきく初音」

「しんねこの、浮名高松菊水からは、吉野亭とは思ひ共、仲を取持ち二人の中も、喜樂にまんなをし」

「滿月に、日の丸みはた高く上げ、沖の島なる第三營口丸、通ふ千鳥に千文字とつけて、さくや有明の入船を」

「主さんは、遠き滿州に草枕ら、私しや柳亭に居るとても、立てし一力ちかわさせぬ、日にち便を松の月。（東北生投）

廣告

硝子製造　菅野玻璃廠
營口青堆子街三百六十四號
THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY.
No. 364, St. Chingtaizu, YINGKOW.

廣告　美人投票

弊館來本月四日ゟ向十五日間祝開業二週年左の方法を以て美人投票ヲ候

容貌及遊藝の秀でたる美人各一等より十等迄を當撰者と定め左の賞品を贈與します

一等　純金指環　元價　三十圓
二等　寫眞機械　コタック　同　二十五圓
三等　全紙二枚掛引伸　同　二十圓
四等　全紙行伸　同　十圓
五等　半切引伸　六圓　六等　四ツ切引伸　四圓半
七等　八ツ切　三圓半　八等　カビチ　二圓半
九等　紀念帖　一圓半　十等　繪はかき　三打

右ノ內一等より五等迄の當撰者は精巧なる寫眞銅版とし廣く滿洲日報讀者へ配付し名譽を世界に發表します

等級は最高點者を一等とし以下是に準じます

以上の方法を以て美人投票仕度候間御贊成の諸君は弊館に付て投票用紙御求め被下度弊館は撮影金額に應し（一圓に付十枚の割）投票用紙を進呈します時に多數御入用の方は便宜卜弊館の寫眞撮影券を御購求下されば同上の割合にて進呈します寫眞撮影券は二圓五十錢、五圓、十圓の三種にて六ヶ月間有効です之の四口より同時に賣出します体裁等も頗る高尚なれば進物用にも適し至極重寶です

投票の場所は永世街鶴の湯の前、日本町東京館附近三船寫眞館地の三ヶ所に備てありますから隨意、御投票を願ひます、投票の結果は公平を保つため滿洲日報社員及料理組合事務所員の立合を請ひ開札し毎日滿洲日報に掲載します

月　日
營口元神廟街　三船寫眞館

大勉強
一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前　銀三十錢より
一まめめし　御一人前　二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
營口元神廟街二〇九號
月　日　翁亭

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街東第三十六號
北斗洋行質屋部

庄田次郎米葬送の際は遠路御會葬を辱し御厚情奉深謝候混雜の折柄皆名伺洩らし失禮仕候儀可有之乍略儀以紙上御禮申上候
六月二日
兄　宮崎宗朝
親戚　淺田龜吉
　　　新井實
友人　後藤美知治

馬場熊一へ
四日迄に歸宅せずは五日朝には必ず告訴する御存じの方は本人へ通告を乞ふ

銘酒劍菱　新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向と
池上出張店

古料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

●御禮かた〳〵御披露を　かねての評判開らく口上

弊館事開業以來口は盃の淺けれど義狹は德利の底深き粹樣の御贔屓の御膳に上るお料理の數かぎりなき御ひゐきの御かげで主人も銚子づき七重の膝を八重襷心と胸に十文字かけて坐敷をクル〳〵ソレ〳〵舟でくる車で來るお客樣の來るワ〳〵ソレ菖蒲さん御手が鳴るヤレ杜若さん御出迎ひ餘んまりあわてゝ御酒と御酒と間ちがひるなお客樣とお客樣とを見たがうなコレはしたり此方こそ狼狽するがの富士の山ほど繁昌は偏へに厚き御引立で就ては此際御禮かた〳〵御披露かね變つた趣向を思案折御ひゐき樣の御すゝめに隨ひ來る五日左の順序にて思ひ入れ堪能まゐらせ度候間何卒それからそれと御誘ひ合され永當〳〵御光來被成下度料理は自慢の腕としごき餘興は菩薩の根くらべきてその次の寶船七百福神にこやかに月の桂に掉して乙姫樣を浮かれさす營口開けてこのかたに今を始めの御遊樂此診案に低かりし主人の鼻の伸びるを許し月と八十とをユキ來に觀てハナ〳〵愉快と御へナしのへナにへナ咲く賑ひをハナうでめかして祈るになん

二本町　東京館主人　外一同　敬白

再白今後御遊樂に尚は一層の趣味と簡便とを慮り這般瀟洒風致を旨として庭園も出來風呂を常設し何時にても御隨意の御入浴に供し且つ碁將棋その他の御樂み品を備へ酒肴は尤も簡便にし倶樂部風に品佳きビーヤホールの主意に御座候間永當〳〵御來遊御試めし程度主意に伏して奉希上候

懇親演藝會細目
一會場　二本町東京館
一時日　六月五日午後六時開會し雨時は順延
一順序　六時より八時まで天會食懇談八より藝妓手踊劍舞薩摩琵琶持寄福引其他有志者の飛入演藝十時會合者一同東省巡航公司滊船にて遼河の遊船
一會費　一名三圓
注意　準備の都合有之候故六月四日夜までに東京館へ申込被下度若し豫定人員を超過せし時は申込の順序に從ひ次會に繰延可致候猶御志に任せ各自福引御持寄被成度奉願候

●森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森嬌
●副院長　醫學得業士　長船郁太郎
●一本院歯科開設
歯科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

御料理
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打チ一圓ノ雪月花ノ會席ト仕餘ヘ御意ニ從ヒナンヲモヂス
ゲンシン
ピヨガイ
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　ふで
仝　松吉
仝　二〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲の樞要の都府たる當奉天小西關十字街に料理店旅館開業仕候大方紳士縉商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付き今般營業務を擴張し更に本店を當府小西關新來當街に設け以て專門の料理店となし本式大宴會（百人迄の設備有之候）並に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共に一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔を主とし精々勉强廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候敬白

奉天小西關新來當街々　御料理　本店　金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街　御旅館　金城ホテル（電話一〇）

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は北方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街　御料理　支店　金城館（電八三）
營口永世街　御旅館　支店　金城ホテル
大連市吉野町　御料理　支店　金城館
大連市吉野町　御旅館　支店　金城館

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書紙各式紙料葉票句棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字運張其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至汀西路五十一號門牌可也
中井洋行

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股
（昌）
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社 營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙惠顧貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議特待謹白倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按御地市價包補此

第三回新荷着
恵比壽ビール YEBISU TRADE MARK 商標 登錄 DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN 大日本麥酒株式會社
金舛洋行
盛進商行

軍政署御認可 田庄臺大盛貯氷公司 飲料好適
氷
發賣元
田庄臺 大盛貯氷公司 販賣部
營口元神廟街成功號三階（電話一三四）
特約販賣店
丸山氷室 營口二本町日莊洋行方（電話一六九）
三輪衛生軒 營口永世街（大和館向）

自造
煉瓦 ◯瓦
並ニ各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
電話八十六番

東營口永北街
裕和盛
電話八一番
東淸鐵道 河遞 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品、食器
和洋鑵詰、內外煙草、藥品
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣
彩票
每月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

商號 キ キ キ キ キ
夏もの大賣だし
永世街第貳市場前
木村呉服店
五月二十五日より
六月四日まで
抽籤ヲ以テ景品ヲ呈ス
（電話八八）

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
卸商
（十）
豐生洋行
營口西北街
（電話十三番）

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十号第二市場東
石原商店

ペンキ塗請負 京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
（石）
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

S/K
船毎に新形流行品到着!!
中折帽子、夏座蒲團、夏屛風、硝子球
浪花簾、花莚、電光燈、文明厨爐
簿記臺及椅子、藤製長椅子
揮發油、樟腦、薄荷油
のみとり粉
洋紙

今回海陸連絡の便を計る爲め當行滊船穎朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲內地には左の箇所に出張所を設け海陸及輸送輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也
猶東淸鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候
本店 大阪市西區西道頓堀貳丁目 河邊商店
支店 營口元神廟街 松茂洋行
大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所
鐵嶺西門外 松茂洋行出張所
昌圖府驛 松茂洋行出張所

卸小賣共
特別廉價
に御顧可
申候
黑 赤
深ゴム編上靴新着
營口永世街
盛進商行

宮門抄

初八日 刑部 都察院 大理寺 鑲紅旗値日無引見 湖北學政秉維俊到京請安 恭王請假五日 英慈請假十日 召見軍機

奏議

熱河都統廷奏覆陳現辦警務情形摺續

再選裁撤綠營兵捕盜營兵及所屬各府州縣現招警兵分班肄習其有性質靈敏程度較高者派充各屬教員次則派爲巡官巡記又次爲巡兵此設立熱河警務學堂之情形也警兵雖成於學堂警政則基於戶口警務則在於區段况施行之日必需器具未備正多亟應於畢業之先覆查戶口劃分區段製備器具去冬初次清査官商旗民統共四千零三十戶計男女一萬八千零一十五名口考諸輿圖並經周歷會垣形勢有如旗常西自頭道牌樓直東至平安街及皮襖街長狹似旗之杆再東至陡低落而平南營方正似旗之幅但長狹之區除西自文昌宮東至火神廟一帶通衢並其北之糧市其南之旱河沿尚屬條直整齊此外則多歧路山坡偏陂高大而方正之區除南營址街道尚成疆理餘自草市至小匝大廟街無不畸零散漫氣勢不連綴以總局立於市中其長狹處以東西分區方正處以南北分區每區再分若干崗視其地之衝僻繁簡爲衝至各項器具則莫要於巡官警兵之靴帽衣帶並傘付油布雨具及測光燈鉛筆謄寫板巡官之佩刀警兵之自衛棍捕犯繩尚有站崗之板屋均應先事製備以免臨時缺如致類刻鵠此預備警兵畢業實行警政之通務也抑更有請者考諸東西各國歷史其警政能行無不於兵革之後方人心悔禍遷善事易舍舊圖新日本則更善以正言演說行其鼓勵之力今 京師保定天津警政已昭成效若非乘聯軍之後策勵振興恐亦未易臻此庚子之變熱河恃形勝險阻全境幸爲完善之區人民安常習故更始彌艱實行警察條例姑先毋論極點即就始基而言如通務之一節三條二節四條三節四十條或本具國例禁令咸豐以前人尚知遵自時厥後五十年來餼羊不存愚民久昧禁令惟便任私間有一二條則又國例禁令所無幸而熱河夙少火患消防之隊自可緩圖獨衛生乃警察必備者其一節一五條二節十條三節三條四節九條內僅數條略近中例餘皆不懸禁令且半多善舉今若一旦悉行則民情私便既久違警之罪十幾六七是以開辦之初似應酌行徐圖周密總之外國警政固難全行於此邦即北洋成效宏規亦正未易言企及蓋經費有限民度尚低也惟有實行宜講俾民人早知警察禁令原多中國之例章庶臨時施行不致訝爲新奇惡爲縛束致起驚擾而造謠傳衛生以清除汚穢爲先自應製備土車四五輛按時挨戶歛運傾棄合宜處所街道泥濘凹凸之處亦應逐漸平墊而刑事裁判應罰苦工之犯即可令施畚鍤所費似尚不多而規模即可粗備等情詳請奏咨前來奴才覆加查核熱河警政開辦較遲由於風氣未開款項尤絀現經奴才督飭各員實力舉行先固根帶徐圖擴充已辦者將以實心未辦者竭其能力雖將來能否造極未敢預期而當前審愼初基非同草創除分咨巡警部戶部外所有遵 旨覆陳熱河警務情形是否有當伏乞

皇太后 皇上聖鑒飭部核覆施行謹 奏奉 硃批巡警部知道欽此

中外要聞

●俄報論黑龍江沿岸鐵路　經營遠東問題之中心點直在利便交通一事而已即由俄本國各處車站起以抵東方西伯利亞一帶地方鐵路之貫通聯絡正屬刻下最要之意務此一線鐵路爲將遠東永作俄國之範圍故決當不缺落之一大柱礎也除此之外縱立幾許計劃而費幾許經營乃未足解決遠東問題之盤根錯節而况於浩築遠東俄國之宮殿其柱礎而未免脆弱乎但恐一經風雨立即見傾頹瓦解之患焉蓋黑龍江沿岸鐵路實爲俄國遠東宮殿之一大柱礎此具加爾鐵路之終點起以至烏蘇里鐵路之終點地呼哈巴魯夫須克之處共計一千六百俄里皆即所謂經營遠東之一大柱礎者倘論興築需欵之多寡恐尙無得失相償之成算加以沿途一帶地方有大山洪河起伏汎溢每爲其修途之阻梗又加以天氣近寒工役勞苦一年間唯夏季可從事興築其爲異常不便可知但由經濟上觀之固無一有所需於籌計焉且已經興築之後即難於贖回其經費亦勿論已倘必有志於贖回猶不可不期待百年以後礦務興旺物產蕃庶之時豈能屈指以冀河淸耶

外鐵路興築之利不利亦有不可責以常律者即黑龍沿岸鐵路之興築尙或有常律以外之異常利便亦未可知如美國興築鐵路唯由助長沿途之產業起見初不問得失收支之足相償不祇在興築已成鼓輪漸便之後而觀之往往收其桑榆之功而贖回前日之缺失直有如反掌之易也試就西伯利亞現在情形論之亦然其初計劃已竣僉謂吝貨恐不過爲少小分量故軌制宜從窄狹以期其速成於是講求得失互除之方法者頗不乏其人詎知今日實際情况止搬運貨物一事頗有應接不暇之勢攘往熙交尤不勝客家之酬酢將來有需於添築一道複線以便其往回之運用者蓋不難想像矣且不但此也如依喀的林斯鐵路當初實多有不表贊成之人固亦恐收支不足以償而國計無由於贖回耳今則不然反有願添築其複線以便皷輪來往之情已歷歷可徵焉而沃連堡曁達西墾土等鐵路皆亦復如此可見鐵路亦例外有例非常律所能拘矣然則黑龍江沿岸鐵路將來亦有前途之收利而如一時得失之不相償者猶不足以爲患今不須具述而自昭然矣又况由國家經營之方略視之孰復謂其不然耶其流注俄本國之血脈以便遠東殖民地之滋養究竟除此鐵路之外恐未有絕好手段也

但此鐵路之有重大關係而不可一日緩其興築等議論本係遠東各處新聞所倡道非由今日始倡道其議論已奈俄都本國之閱遠東新聞之議論者甚乏其人縱有其人猶不費一顧之皮相徒令驪黃牝牡祇作槽櫪之鳴而驥北馬羣終未遇伯樂之知已亦甚可悲夫初一千九百三年當旅順大連等處未經日軍蹂躪以前遠東各處諸紳董輩僉會合於哈巴魯夫須克倡議興築斯列顛須克之鐵路以便地方振興之策等案終作一篇意見書以發表之命意實在求政府諸公之注重於該鐵路而政府寞然不悟反謂西伯利亞一線已足供其應用不庸添築黑龍一線幸其時遠東無事日本尚未振鯤化之翮乃一例作爲罷論然諸紳董夙疑西伯利亞一線之無足倚賴仍有主張其蹈襲歷山三世之雄圖者此事今雖棄置不復顧省尙不難照行亦無論爲耳

蓋日本之野心今已歷歷可觀者蓋欲毀折遠東俄國之勢威固已灼乎燭照矣但其毀折之計莫便於奪割太平洋沿岸之勢力其奪割之後仍歸日本所把握與否姑且無論唯其不歸日本亦已足贖其野心已吾儕誠知日本不自揣之甚又知再次日俄戰爭亦非如初次即連戰連敗而止者然吾鄰邦之經營遠東已着着形其進步一切即當準備各種事業現已揭其先鞭矣其誰能無聞雞起舞之慨乎

波杜馬斯媾和條約之墨痕未乾而日英攻守聯盟據稱亘十年之久而不渝是較日本向來所執之政策分明已加一進步爲究竟只有一戰字而已

然而日本政策之進步尙有一爲中日條欵之新成又是已彼其開放門戶興築鐵路等各種要項皆所以備他日之前哨探險倘遇一朝有事則中日兩國之商旅遽然供作陸軍之偵探隊徵之前日而可知是豈非所以備再次戰爭者而何耶所願政府諸公必須采芻蕘之言以資經國之一方略焉可耳

●美領事考察商埠意見　聞美國駐營口領事塞孟君於上月抄抵奉晋謁趙次帥及日本文武員等磋商開埠事宜並勘查租界於初三日啓程赴安東考察開埠事宜日內將回營口又聞塞領事意見以中國允洋商在城內開設行棧爲然略云奉天安東等埠如不允認洋商開設行棧於城內則商務難興通商不旺究竟難達開埠之目的云云夫我國以東省各埠開爲商埠其目的在于商務之發達然恐滋交涉不允洋商在城內開設行棧以阻撓商務發達蓋非副開埠目的也未悉當路者以爲如何

●英使與外部爲稅務大臣之交涉　外部因稅關事覆照英代理公使一節已誌前報茲聞其內容云外部雖未肯收回成命裁撤稅務大臣然向英國申明全國各關均照舊辦理並不更改等語然英代理公使以爲既派稅務大臣節制各關華洋人員總稅務司亦不免受諸多掣肘故頗不滿意擬於未開公使會集議對付方法以前復照會外部交涉此事云

●俄軍添築鐵路之說　傳聞俄軍現在江吉兩省運到鐵路應用材料鳩集華工暗中築路擬以東淸鐵路改爲複綫云按此風說是否確實雖本館未悉然俄國侵略東省之志仍然如故其奢望未息悉心布置殆不遺餘力是此說未非無因當路諸公不可不三致意焉

●法公使到京　新任法國駐京公使巴博司君已於初八日晚車由鄂來京履任想南昌教案從此必見辦結矣

●拒法商辦川漢路軌　川漢鐵路現擬開辦由湖北宜昌至四川之萬縣一段所需鐵軌擬向鄂廠定購六十萬噸刻因鄂廠索價稍昂正往通電商減乃有法國商人乘此機稟駐重慶安領事聲稱法商願包辦川漢鐵路鐵軌價較湖北鐵廠爲廉然錫淸帥爲保全利權起見已經推絕遂電商部向張之洞電商將鄂廠鐵軌核實減價以免爲法商藉口聞張香帥已允核減軌價矣

雜報

●衛生講說會之開會　日昨有奉天府宣教師英人苦利斯幾君來訪本館據其言云自本日下午五鐘於西營口火神廟開衛生講說會蓋時入夏衛生之事不可一日忽之苦君特開該會以欲防病患未發之前也務望有志士商速往聽講而於衛生之道大有裨益焉

●贋冒紳衿　昨聞新民屯來人云月前有張姓者係裏省人衣裳炫耀時扮洋裝衣袖間均以金線五道繞之自稱躬奉督憲命爲總查乃帶隨役二名一鞭一杖沿往街市巡查茶亭酒肆花巷烟樓等處而生風滋事恣意吹求重則鞭杖交加託言交憲懲辦藉此暗獵賄金不知其數衆等莫測其底蘊咸惴惴然諱爲避之詎張久假不歸竟忘非其已有前數日入夜乃往西關妓館騷擾該妓與一日人新識情密該日人便向張勸慰致忤其怒反將日人捶擊日人急向軍政署赴愬而竟無此差并無此人即派二憲兵同來盤詰張又託云奉總督府督憲命爲總查云云當時即用電話諮詢省憲答以絕無此事速解該犯來轅等語而二憲兵與該日人狠將張某及一隨役交相捶楚体無完膚解往省垣去矣

●柩中藏土　昨聞本埠人云前日由烟台放來輪船壹艘上有北邦客帶靈柩壹具置於其旁而柩縫未嚴時有理船廳令查驗巡差等揭棺試驗詎棺內滿藏土藥若干包舁往岸上三擡棺報內土葯尚有云云

●河北調換兵隊　昨有河北人來云朱子樵統領所率之巡警營隊前日奉趙次帥札調往北地剿賊其衛護鐵路之差乃有奉天中營田子陵君率其部屬特來接代云

●追盜負傷　昨有高坎來人云前夜晚間有鬍匪四人皆帶擲鎗至高坎居民小戶之家突然入舍搶去現洋衣物而去復至東昌堡吳姓小店盜發數鎗店夥四散盜入街隙將錢櫃衣箱打開翻去現洋二百餘元四盜得財物去適有十間房保甲局夜間巡兵四人皆鴉鎗馬至其處店主一一告之盜得財物去不甚遠速捕之人財均可得也陳姓巡兵貪其利鴉馬速追之至花烟台處見盜四人在刖硬馬急追其一盜身帶財物恐爲所及暗伏溝中仰臥不動以待其來則殺之陳兵見盜不遠又恐被盜所傷欲發幾鎗以鎮之連發三四距伏盜之溝一二十許又發一鎗鴉馬欲回伏盜暗發一擲鎗皆仲胯間不能行動伏盜急竄兵負傷大聲呼救幸有同件三人急往救援富用門板抬至石橋子天巳明矣尚見四賊在花英台村後緩行而去昨聞在高坎已捉其一云云

叢談

●婦人一生對鏡之時刻　法國之統計家計婦人一生對鏡之時如左一女子至六歲而用鏡一自六歲至十歲用鏡七分時一自十一歲至十五歲每日用鏡十五分時一自十六歲至十九歲每日用鏡二十分時一自二十歲最少每日一時以上一至六十歲每日十分時(此時對鏡亦自厭矣)合計婦人一生有七千時對鏡即費其時刻十個月於鏡上也

●小兒催眠機　瑞士國有人造小兒催眠機其法以機裝於搖椅中凡小兒睡醒而哭口氣激動鐵絲則有唱歌機如留聲匣然且唱且搖則小兒重復睡去矣

●七妻四十九子　美國紐約有驪爾摩教徒嗎阿里禮梅道者現有妻七人子四十九人且已育孫至一百四十人前已兩次鼓盆合亡妻兩人計之共有妻九人似此製造人種未識曾得天地甚麽精秘

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種冊籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉較之取購本處者其價目格外公道 貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番） 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

御料理並ニ溫泉 毎日新湯 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一八七番、四四番） 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

御料理 梅廼家 營口二本町 田村瀧太郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 登瀛門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

爲替相場（六月二日）
日本向 百〇三圓（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩（同）
天津向 一百〇四圓（同）
芝罘向 一百〇四圓五十錢（百弗に付）

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

御旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 天神樓 奉天小西關大街北側（電話　號）

高等御旅館 温泉付大勉强キレーヂライシヒ

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話　號）

旅館料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉雞肉すき燒 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回大改良を加へ旅館専業にし御客樣の便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店 新日奉館 奉天大西門際 館主 濱田アヤノ

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園提

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之丞

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席御料理 玉家 主任 西野治三郎

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

天然清水氷發賣廣告
奉天 倉庫一ケ所 毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外内 大仁洋行

會席料理 三日月 營口警務課前南へ入る

一狀袋 二十枚綴 三錢二厘以上四錢
百枚 十二錢以上十八錢
室内裝品飾及寢具 矢野洋行
三枚組 六圓九十錢以上十五圓
三十組 十四圓五十錢以上三十五圓

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話　号

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

千客万來

松岡病院
内外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄（電話一五一番）

一疊 二圓六十錢以上三圓
一疊敷 十枚 八圓
全 三圓五十錢

美味安價西洋料理 牛莊亭 營口永世街五十二號鶴の湯東隣

各國高等雜貨
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
電話百五十二番
洋行雜貨部
營口永世街

高等麥酒スペシャルライト

新荷着
毎々御引立を蒙り難有御禮申上候扨て麥酒スペシャルラヰトの儀今般原料非常に騰貴致候爲め本月一日より左の通り値上げ仕候間左樣御承知被下度尚不相變御引立の程伏て奉願上候 敬具
スペシャルラヰト 一函に付 銀十一圓五十錢也
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

諸毒下し 毒掃丸 一名一ケ月丸
梅毒そう毒しつ毒胎毒よこね、かんそう其他諸毒又はのぼせ、頭瘡、手足に腫物生し困難なる人一日も早くためし見よ
軽症は二週間重きも一ケ月間にて全治すべし故に一ケ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 毒掃丸
本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、痔瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其效神速的確恰如操左券凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一愼若無病之人常服本劑能快通大便排泄百毒庶足以徴其効驗也
●定價四日份 三角 ●一禮拜份 五角
總經理批發 營口永世街（司法部前） 回天堂三木大藥房（電話百九十番）

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙